

政策評価に係る理事者の指摘事項一覧

平成30年8月24日(金)
第3回 総合計画策定会議
企画部企画経営課 資料4

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
例	●●部	8.これからの取組に関する考察	●●について、追記すること。	・評価シートを修正します。 ・●●については▲▲のため、現時点での記述は難しいと考えています。
1	こども育成部	8.これからの取組に関する考察	こどもセンターについて一定の方向性を打ち出すとあるが、どのような方向性を打ち出していくのか。骨子の部分だけでも記載すること。	・評価シートを修正します。
2	教育推進部	6-2.課題として残される事項	IT教育に関して、先行自治体と大きな格差があるという課題が書かれるべきである。	・評価シートを修正します。
3	教育推進部	7.新たなニーズ・課題の考察	IT教育に関する記述が必要である。	・評価シートを修正します。
4	教育推進部	8.これからの取組に関する考察	IT教育に関する記述が必要である。次期総合計画においては、IT教育を大きな目玉として打ち出さないと、他の自治体と格差はさらに大きくなってしまう。	・評価シートを修正します。
5	教育推進部	8.これからの取組に関する考察	体験学習施設に関する記述に「市民の憩いの場」とあるが、「憩いの場」で良いのか。特に教育推進部が持ってきたということは、世代間交流事業を発信していかなければいけないのではないか。	・評価シートを修正します。
6	教育推進部	6-2.課題として残される事項 7.新たなニーズ・課題の考察	「8.これからの取組に関する考察」に学習アドバイザーの記述があるが、これに対するや課題をどう捉えているのかという記述が必要である。	・評価シートを修正します。
7	教育総務部	4.政策指標による進捗状況の確認	「学校内・登下校時の事故報告件数」が29年に一気に70件と増えているが、28年度と捉え方が違うのであれば、従前どおりの捉え方では何件になるか、考察に補足する必要がある。	・件数の捉え方については28年度と変更はなく、評価シートの修正はありません。
8	教育総務部	6-2.課題として残される事項	「空調設備の整備と大規模改修、環境改善への影響」はもう少し現状にあった形に内容を修正すること。	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
9	文化生涯学習部	4.政策指標による進捗状況の確認	担当課独自で行った数字を述べる必要があるのか。実施率の整合が取れなくなるのではないか。	・スポーツの実施率については、市民満足度調査により数値を把握しており、概ね目標の50%を超えているが、計画の改定のため担当課で実施したアンケートの数値は対象者の抽出等方法が異なったこともあり、36.4%となった。市民アンケートの結果で目標を超えているからクリアではなく引き続き取り組む必要があることを示すため、あえて標記したものです。
10	文化生涯学習部	6-1.これまでの主な取組と成果	「都市交流の拡充」では、フラフェスティバルのことしか書いていないが、限定的過ぎて違和感がある。	・評価シートを修正します
11	文化生涯学習部	6-2.課題として残される事項	スポーツに関する課題認識が少し薄いのではないか。ハード面だけでなく、業務棚卸のヒアリングの際にしたスポーツ推進の様な話がなければいけない。	・評価シートを修正します
12	文化生涯学習部	6-2.課題として残される事項	都市交流の構築にフラフェスティバルの記述があるが、こちらも限定的過ぎる。国際交流の観点も含め、内容を整理すること。	・評価シートを修正します
13	文化生涯学習部	8.これからの取組に関する考察	スポーツに関する記述も追加すること。	・評価シートを修正します
14	文化生涯学習部	8.これからの取組に関する考察	都市交流や外国人支援と書いてあるが、国際交流のような切り口があまり出ていない。国際交流をどうしていくのかという議論も総合計画でしっかりと位置付けをするとの話が、ホノルルに関する打合せの時にもあったと思うが、そういった議論はしたのか。	・評価シートを修正します
15	市立病院	全般	記述内容が少なすぎる。これまでの取組みについては、病院機能を充実させていることから、診療科を増やしたことなども記述する必要がある。課題としては、負担金が一般会計の収支状況に左右されている点も書いていいのではないか。そういった様々な課題があったなかで、最後の経営形態がどうなのかという形につながる。	・評価シートを修正します。
16	保健所	6-2.課題として残される事項	「養成者講習の充実」とあるが、誰の養成者で、何を養成するのか分からない。	・評価シートを修正します。
17	保健所	6-2.課題として残される事項	庁舎に関する課題は記述する必要がある。	・評価シートを修正します。
18	保健所	8.これからの取組に関する考察	庁舎に関する記述を追記するとともに、ハードだけではなく、保健所がどういった方向進むのかということを記述する必要がある。	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
19	環境部	7.新たなニーズ・課題の考察	最終処分場の使用期限が、2033年で終わる話と、施設整備等経費が増大するという課題に関する記述がなければ、最後の有料化や戸別収集の検討に話が繋がらない。	・評価シートを修正します。
20	市民安全部	全般	部内3課でしっかりと議論したうえで、評価シートを作成しているのか。部内横断的な議論が足りていない。単純に各課の意見をくっつけるだけでなく、外部評価を含めて外部に出ていくことを意識して記述する必要がある。	・改めて3課でしっかりと議論した内容をふまえ、「7.新たなニーズ・課題の考察」の内容を修正します。
21	市民安全部	6-2.課題として残される事項	交通安全の啓発事業についての記述があるが、一般の交通安全の会議で意見があったように効果測定に課題があるのではないかと。	・評価シートを修正します。
22	市民安全部	7.新たなニーズ・課題の考察	今以上に核家族が増え、高齢者の単身世帯が増える状況であることから、自助や共助をもっとどうしていくのかという課題が顕著になる。そのことについて記述が必要なのではないか。	・20の意見とあわせて、評価シートを修正します。
23	市民安全部	7.新たなニーズ・課題の考察	昨今の異常気象、特に集中豪雨等への対応は新たな課題であり、茅ヶ崎市としては水害に注力する必要があると思う。今後の自治体の防災の中心になってくるのではないかと。	・評価シートを修正します。
24	市民安全部	8.これからの取組に関する考察	交通安全についてハード面の整備は難しい状況ではあるが、必要があればハードと連携して、交差点を少し改良していくとか、もっと、一歩踏み込んだ課題もあるのではないかと。 交通安全キャンペーンも高齢者の対象だけでいいのか。通学路等の問題もある。もっと議論が必要ではないかと。	・これから取り組む交通事故の分析に基づき、対策とその効果検証を行うことにより、あらためて課題を整理していきます。 ・交通安全教室や各種キャンペーン等を通じて、幅広い年齢層に対して啓発に取り組んでおり、今後もその取組を継続するとともに、高齢者への働きかけをこれまで以上に進めていきます。
25	市民安全部	8.これからの取組に関する考察	どの取組にも「地域との連携」とあるが、これまでも地域と連携しながら各分野で取組を進めてきたが、もっと市民の安全を高めるためには、そういう認識の基で地域との関わり方をしていく必要があり、問題が多岐になっていることから、市民の安全・安心というのは、決して行政だけではやり得ないことということが記述されていると良いのではないかと。	・評価シートを修正します。
26	消防本部・消防署	7.新たなニーズ・課題の考察 8.これからの取組に関する考察	昨今の異常気象、特に集中豪雨等への対応は新たな課題であり、水害への対応に注力する必要がある。	・評価シートを修正します。
27	消防本部・消防署	8.これからの取組に関する考察	広域化については、広域化したメリットを享受できる運用体制の確立についても記述する必要があるのではないかと。	・評価シートを修正します。
28	都市部	7.新たなニーズ・課題の考察 8.これからの取組に関する考察	都市マスの素案にも記載があるが、今後、本格的に動工としている藤沢市の北部や寒川町の様々なまちづくりの取組に連動した本市の都市像の再検討が必要といった記述が必要である。	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
29	都市部	7.新たなニーズ・課題の考察	みどり財源の確保について、基金だけでなく税も含めた議論を建設部とともに本格的に実施するという話を入れたほうが良い。人口密度が高く、市街化区域が多いような本市が緑地面積を広げるために、みどり財源の確保は次期総合計画の根本的な議論になる。	・評価シートを修正します。
30	建設部	4.政策指標による進捗状況の確認	「市民1人当たりの都市公園面積」について、目標設定の値は湘南海岸公園を除くとどうなのかという考察が必要。市が主体的に動ける範疇として、どこまでクリアできているのかを考察に入れたほうが良い。	・評価シートを修正します。
31	建設部	7.新たなニーズ・課題の考察	みどり財源の確保について、基金だけでなく税も含めた議論を都市部とともに本格的に実施するという話を入れたほうが良い。人口密度が高く、市街化区域が多いような本市が緑地面積を広げるために、みどり財源の確保は次期総合計画の根本的な議論になる。	・評価シートを修正します。
32	下水道河川部	4.政策指標による進捗状況の確認	公共下水道(雨水幹線)整備率について。「ほぼ完了」と考察にはあるが、数字が違うこと(100%にならないこと)に対して説明が必要である。	・評価シートを一部修正します。 (補足説明)「ほぼ完了」としたことについて 公共下水道(雨水幹線)整備率が100%とならない理由は、行谷雨水幹線の整備に着手していないことによるものです。行谷雨水幹線は市街化調整区域にあり、現在のところ、優先的に対策を行う浸水状況にはありません。 「ほぼ完了」という見解は、人口密度が高く、優先すべき市街化区域内の雨水幹線の整備が完了したことをもって、概ね事業目標に達しているとの認識を示したものです。 今後の事業展開としては、目標値である幹線整備率を100%に到達させるよりも道路冠水などが多く発生している、投資効果の高い市街化区域の面整備を優先して取り組んでいく考えです。 なお、市街化調整区域の整備については、市街化区域の面整備の進捗度合いに応じ対応を検討します。
33	下水道河川部	7.新たなニーズ・課題の考察 8.これからの取組に関する考察	下水道使用料の料金設定は今後の維持管理を考えれば、今の使用料では賄えない。法的な縛りはあるにしても、公私費の負担を含めた使用料のあり方の議論を行い、それを踏まえうえでの適切な使用料の設定が必要である。経営計画に記載のある落としどころを記載すれば良いのではないかと。	茅ヶ崎市における污水事業は黒字経営を維持しており、将来の更新投資等を含む設備投資に備えた建設改良積立金の積立も継続しています。投資・財政推計も行ってはいますが、当面は純利益並びに現金を確保できるため、現時点で使用料改定に言及することは、難しいと考えています。
34	企画部	4.政策指標による進捗状況の確認	広域連携に向けて取り組んだ事業の件数は何を捉えているのか。湘南都市広域行政都市協議会だけの件数なのか。	・評価シートを修正します。
35	企画部	6-1.これまでの主な取組と成果	働きかたの見直しに関する話があまり書けていない。大事な部分である。	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
36	企画部	6-2.課題として残される事項	「中核市の移行に関する諸課題への対応」についての記述があるが、財政的な課題を前面に出す話ではない。それよりも事務の効率化の話や県との産業廃棄物の課題の話を入れるべき。今まで検証してきた課題を具体的に書くこと。 財政的な課題を記述するのであれば、県から業務を受けることや、補助の枠組みが変わることを分かるように記述する様に。	・評価シートを修正します。
37	企画部	6-2.課題として残される事項	マイナンバーカードの利用範囲が国も含めて拡大できておらず、普及も進んでいない旨を記述し、「8. これからの取組に関する考察」につながるようにすること。	・評価シートを修正します。
38	企画部	8.これからの取組に関する考察	「更なる権限移譲の推進」については、「中核市移行と周辺市町との連携」とように、タイトルや中身も連携の話を書くように。	・評価シートを修正します。
39	総務部	3.目指すべき将来像の実現に向けたこれまでの主な取組	平成28年度以降の取組として働き方の見直し関係のことはいれたほうが良い。	・評価シートを修正します。
40	総務部	4.政策指標による進捗状況の確認	「市民と行政の対等な立場での協働」に関して、単なる事実の記載ではなく、分析をすること。	・評価シートを修正します。
41	総務部	6-1.これまでの主な取組と成果	「人材育成の推進」と別立てで、働きかたの見直しに関する記述を追加すること。	・評価シートを修正します。
42	総務部	6-3.指標及び数値目標の妥当性	窓口サービスの指標について検討していく必要があるとあるが、どういった視点で検討していくのか。トータルコストの視点が大事である、サービスを受ける窓口・拠点を作ったが分散化するだけで、経費が膨らむだけでは意味がない。分かるように記述すること。	・評価シートを修正します。
43	総務部	7.新たなニーズ・課題の考察	「地域コミュニティ制度の運用」に関して、「運用していく中で検証すべき事項が出てきている」とあるが、具体的な事例をひとつくらい記述すること。	・評価シートを修正します。
44	総務部	7.新たなニーズ・課題の考察	定年延長の話は新たな課題になるのではないかな。	・評価シートを修正します。
45	財務部	4.政策指標による進捗状況の確認	「経常収支比率」の考察について、「保健所政令市移行に伴う職員数の増加」とあるが、人件費の増よりも2つ目書いている急速な少子高齢化による扶助費増の方が額的には大きい。それから、保健所政令市の移行だけでなく、通常の業務が拡大していることで人件費は増えていることをしっかりと記述すること。保健所のためだけに経常収支が悪くなったように捉えられてしま	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
46	財務部	4.政策指標による進捗状況の確認	「将来負担比率」の考察について、目標値設定したときに、柳島スポーツ公園や本庁舎の建て替えなどの話をどこまで見込んでいたのか。乖離の理由を考察に記述すること。	・評価シートを修正します。 ・なお、目標値については、目標時設定当時確定していた事業及び実績に基づき、毎年25億円の市債発行額を予定し、数値を推計しており、当時確定していない事業については見込んでおりません。
47	財務部	6-2.課題として残される事項	財源不足の解消に向けた記述のなかで、「引き続き全庁をあげて財源確保に取り組む」とあるが、あまりにも抽象的すぎる。他の市町は国のモデル事業や国が新しく施策を打ち出して補助等がとりやすいところに着目して、自分の市町の施策に関連付けて補助等を取ってくるということを、本市よりも積極的にやっている。本市では、交付金のメニューに対する検討は一生懸命やっているが、省庁が予算を取るためにやっていることをいち早く察知し、活用出来ないかという検討をするとこまでに至っていない。違う視点であったり、更なる財源の確保を考えていることを打ち出さないと課題として残されていると理解されない。言葉を足すこと。	・評価シートを修正します。
48	財務部	7.新たなニーズ・課題の考察	県も動いているようであるが、電子決済に関する記述を追加すること。	・NO. 51と合わせて回答します。
49	財務部	7.新たなニーズ・課題の考察	市が信託を行っているビル等に関して、「総合的に状況を把握している部署はない」とあるが、本当にそうか。市民の資産を市は把握していないという話にならないか。資産運用をするような組織を作りたいという気持ちはわかるが、状況を把握している部署がないという部分は書き方を工夫するように。	・評価シートを修正します。
50	財務部	8.これからの取組に関する考察	「更なる財源の確保への取組み」に関して、「課題としてのこされる事項」に追記する内容と整合を図ること。	・評価シートを修正します。
51	財務部	8.これからの取組に関する考察	「納税環境の更なる質的向上」には可能であれば電子決済に関する話を追記すること。また、「行政財産の貸付」と「公共施設の調整」はこのままでは分かりにくい。外部の人が見ても分かりやすいように書くこと。	・評価シートを修正します。
52	選挙管理委員会事務局	8.これからの取組に関する考察	「7.新たなニーズ・課題」に「国や県の選挙で市の持ち出しが出ている」との記述があるが、この部分への対応を記述すること。	・評価シートを修正します。
53	監査事務局	4.政策指標による進捗状況の確認	件数の推移をどの様に考察をするか記述すること。	・評価シートを修正します。
54	福祉部	3.目指すべき将来像の実現に向けたこれまでの主な取組	平成26年度より高齢者優待カードの取組を開始した。目指すべき将来像から考えると象徴的な取組となることから、記載しても良いのではないかと。	・評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
55	福祉部	5.市民意識の推移	「4.安定した生活の支援と自立を応援する体制」について、「非正規雇用の増加等…満足度はおしなべてマイナス傾向を示している」と記述されているが、国全体では失業率は下がっており、シートの折れ線グラフを見てもそこまでのマイナス傾向を見ることは出来ないが、どの様な認識でいるのか。国の動向と照らしてどう考えるのか、改めて整理すること。	・評価シートを修正します。
56	福祉部	7.新たなニーズ・課題の考察 8.これからの取組に関する考察	「8.これからの取組に関する考察」にボランティアによる介護予防事業の充実を図るとあるが、ボランティアによる介護だけではなく、行政が関与しない、「地域での自主的な介護予防事業」も課題である。	・評価シートを修正します。
57	経済部	全般	全体的に個々の事業に特化した記述となっており、将来のビジョンが見えない。もう少し大局的な視点から、将来のビジョンや方向性が見える様な記述にすること。	評価シートを修正します。
58	経済部	3.目指すべき将来像の実現に向けたこれまでの主な取組	平成27年度だけに「菟園地区産業系市街地整備事業」が記載されているが、それ以降の年度にも記載する必要がある。経済部として重要な事業である。	評価シートを修正します。
59	経済部	5.市民意識の推移	「農業や漁業の振興と農地・海浜の保全活用」について、記載内容が考察になっていない。しっかりと考察すること。	評価シートを修正します。
60	経済部	6-1.これまでの主な取組と成果	道の駅に関する記述がないので、追加すること。リーディングプロジェクトなのだから、もっと他の項目にも記載されるべきである。	評価シートを修正します。
61	経済部	6-2.課題として残される事項	「女性の労働力率を示すM字カーブ…女性の働きやすい環境づくりに取り組む必要がある。」とあるが、落ち込んでいる現状はあると思うが、住民ニーズとして皆が働きたいと思っているのか。その逆を示しているという可能性もあるのではないか。各取組によってM字カーブが改善しているというしっかりとした分析があるのであれば構わないが、そうでなければ表現には気を使った方が良い。この記述では、この年代の女性が全員働かなければならないと捉えられかねない。子育てを大切にしたいから、茅ヶ崎に来たという方には失礼な表現になる。	評価シートを修正します。
62	経済部	7.新たなニーズ・課題の考察	農協や商工会議所との関係性の改善は課題なのではないか。本来、農協や会議所がやるべき事務や任せて良い仕事まで、市で行っている現状がある。こういった部分を整理することは課題なのではないか。	評価シートを修正します。
63	経済部	7.新たなニーズ・課題の考察	DMOに関する記述も必要である。団体他の関係改善はこういった部分にも繋がってくるはず。	評価シートを修正します。

No.	部局名	項目	指摘事項	対応方針
64	経済部	7.新たなニーズ・課題の考察	北部の遺跡を観光資源として活かした取組については新たな課題となる。	評価シートを修正します。
65	経済部	8.これからの取組に関する考察	3拠点のうち、浜見平のみの記述になっているが、3拠点とも一定の投資をしていることから、3拠点のこれからの方向性をしっかりと記述する必要がある。	評価シートを修正します。